

# 栗原の稲作通信

令和4年 第2号 令和4年6月14日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

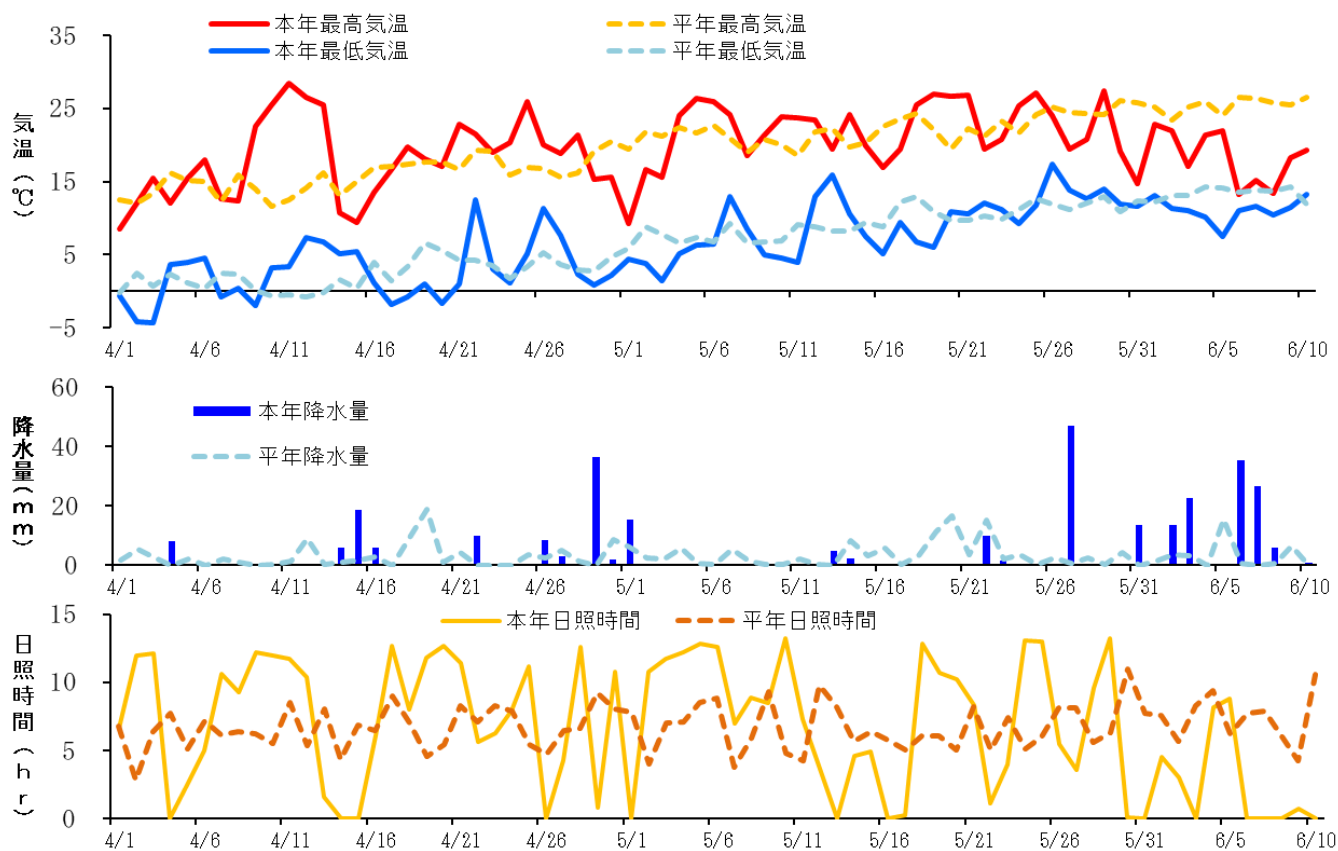
電話番号 0228-22-9404

間断かん水を基本とし、莖数が少ないほ場では浅水管理で分けつの発生を促しましょう。

いもち病の原因となる残苗を処分しましょう。

## 気象経過 (アメダス築館)

- 5月下旬の気温は平年並～高く、日照時間は概ね平年並、降水量は概ね多く推移しました。
- 6月上旬は、平年と比較して気温はかなり低く、日照時間は少なく、降水量は概ねかなり多く推移しています。



\* 点線は平年(過去5か年平均)

### 東北地方1か月予報 (期間: 6/11~7/10)

※令和4年6月9日仙台管区气象台発表抜粋

#### 予報のポイント

暖かい空気に覆われやすい時期があるため、向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。

#### 予想される向こう1か月の天候 (東北太平洋側)

平均気温: 平年並みか高い見込み

降水量: ほぼ平年並の見込み

日照時間: ほぼ平年並の見込み

## 生育経過（6月10日現在）

### ■生育調査ほ（移植）

- ・ひとめぼれでは草丈は平年並となっており、茎数及び葉数が平年と比較して少なく、葉色も淡い傾向が見られます。平年と比較すると生育は遅れています。

表1 生育調査ほ調査結果（6月10日現在）

品 種	地 区	田植日	草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )			葉数(枚)			葉色(GM値)		
			本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	築館 北部平坦	5/14	33	107	102	173	59	54	6.8	-0.4	-1.1	34.2	-7.0	-7.6
ひとめぼれ	若柳 北部平坦	5/20	28	96	99	121	69	49	5.4	-1.1	-1.5	30.3	-7.0	-8.6
ひとめぼれ	一迫 西部丘陵	5/12	25	102	-	110	65	-	6.4	-0.1	-	34.3	-3.2	-
ひとめぼれ	管内平均	5/15	29	102	-	135	64	-	6.2	-0.5	-	32.9	-5.8	-
ひとめぼれ	古川農試	5/10	25	100	96	278	104	98	-	-	-	38.5	-1.9	-2.5
ひとめぼれ	県平均	5/12	26	94	91	170	74	70	-	-	-	33.3	-7.0	-6.0
つや姫	築館 北部平坦	5/24	25	100	88	59	104	47	5.5	0.0	-0.7	30.5	2.0	-3.5
だて正夢	築館 北部平坦	5/18	28	93	-	76	77	-	5.3	-0.3	-	25.5	-6.5	-
金のいぶき	一迫 北部平坦	5/6	33	-	-	135	-	-	6.6	-	-	36.2	-	-
萌えみのり	金成 北部平坦	5/19	30	91	95	50	39	31	5.1	-2.0	-2.0	27.6	-16.0	-16.3

注1:平年値は過去5か年平均。

注2:一迫ひとめぼれ、築館だて正夢は令和2年から調査農家変更のため、平年値はなし。

注3:金のいぶきは令和3年6月20日調査から開始のため、前年値、平年値はなし。

注4:ひとめぼれ管内平均は築館、若柳、一迫3か所の平均値。

※直播展示ほ（志波姫・乾田直播ひとめぼれ）の生育調査は6月20日調査から実施します。

## 今後の管理

### ■水管理

- ・中干しまでは間断かん水が基本ですが、移植が遅い場合や直播栽培などの茎数が少ないほ場では、浅水管理（水深2～3cm）により分けつの発生を促しましょう。
- ・**本年は分けつが平年より遅く推移しています。ほ場で茎数を数えて、有効茎数の確保を確認してから中干しを行いましょ。**
- ・中干しの期間は7～10日間とし、遅くとも幼穂形成期（ひとめぼれで7月第2半旬頃）の前には終了しましょう。中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度とします。
- ・入水及び落水が的確に実施できるように、水田の溝切りは必ず行いましょう。  
※有機物を多用している場合は、硫化水素などのイネに有害なガスが発生しやすいので、溝切りや落水によりガス抜きを行いましょう。
- ・だて正夢は、分けつしにくく穂数が少なくなりやすい傾向があります。ほ場で茎数を確認し、幼穂形成期に茎数が390～460本/m<sup>2</sup>になるように、中干し等の水管理を行いましょう。
- ・金のいぶきは、ほ場で茎数を確認し、幼穂形成期に茎数が570～620本/m<sup>2</sup>になるように、中干し等の水管理を行いましょう。金のいぶきは根が傷みやすいので、強い中干しは避けましょう。

### 目標有効茎数

ひとめぼれ	310～360 本/m <sup>2</sup>
ササニシキ	460～500 本/m <sup>2</sup>
つや姫	390～410 本/m <sup>2</sup>

### ■病虫害防除

#### ▷葉もち

- ・残苗はいもち病の発生源となりますので、直ちに処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を防除適期に散布しましょう。
- ・本田においていもち病の発生が確認された場合は、茎葉散布剤により直ちに防除しましょう。
- ・萌えみのりのいもち病抵抗性はひとめぼれ並ですが、多肥栽培により葉色が濃く推移しやすく、ひとめぼれよりいもち病にかかりやすくなりますので、注意しましょう。
- ・金のいぶきはいもち病に非常に弱い品種です。箱施用剤と水面施用剤による2回防除を必ず実施しま

しょう。また、必要に応じて出穂直前に茎葉散布剤で穂いもち防除を行いましょう。

■斑点米カメムシ対策（雑草防除）

▷斑点米カメムシ類

- ・畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類の増殖源となります。計画的な草刈りを行いカメムシ類の増殖を抑えましょう。  
\*管内ではアカスジカスミカメの越冬世代の大半は6月中旬までに成虫となり、水田周辺のイネ科雑草に定着するとみられます。
- ・ノビエ、イヌホタルイ、シズイなどの雑草により、斑点米の原因となるアカスジカスミカメが水田内で増殖して被害が助長されます。残草が目立つ場合は、中期・後期除草剤等により追加防除を実施しましょう。

表4 イヌホタルイの発生量に基づく斑点米被害リスク

6月下旬の株数	落等(2等以下)確率
1 株/m <sup>2</sup>	30 %
16 株/m <sup>2</sup>	50 %
42 株/m <sup>2</sup>	70 %
90 株/m <sup>2</sup>	90 %

\*水田内でイヌホタルイが密生しているところ1か所を調査  
(条間1m内の株数を3.3して1m<sup>2</sup>当たりの株数を求める)

\*普及に移す技術第88号より抜粋

.....

■春の農作業安全確認運動実施中 実施期間 4月1日～6月30日

「しめよう！シートベルト」

農業機械作業による死亡事故が多発しています。シートベルトを着用することで死亡事故の発生を大幅に低減できるため、トラクター運転時は装着を徹底しましよう。また、安全フレーム等の装備を改めて確認し、公道を走行する際には灯火器類の設置や法令遵守を徹底しましよう。

■農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日～8月31日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守しましよう。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

.....